

平成26年度 水資源功績者 功績概要

都道府県名:福島県 団体名:阿武隈川サミット実行委員会

地域

阿武隈川は、福島県及び宮城県を流れる阿武隈川水系本流の一級河川です。水系としての流路延長239kmは、東北で北上川に次ぐ長さの大河となります。勾配が緩やかで穏やかな印象を受けますが、増水時には溢れ易く洪水被害の絶えない川でもあります。

昭和61年8月5日に発生した「8・5水害」や、平成10年8月に発生した「平成10年8月末豪雨・台風5号による災害」は、阿武隈川沿川に大きな被害をもたらしました。これをきっかけに総合的な河川改修と改良型災害復旧を短期間に集中的に実施する「阿武隈川平成の大改修」という大規模な事業が行われました。

現在に至るまで、沿川市町村は、社会、経済、文化の発展に川の極めて大きな恩恵を受けてきた反面、台風や長雨による洪水なども多く、阿武隈川と沿川住民との間には、多くの治水・利水の歴史が残されています。

経緯

阿武隈川サミット実行委員会は、母なる川「阿武隈川」を知り、川との共生を目指しながら、流域それぞれの実態に即した治水・利水計画との調和を図り、河川環境保全を推進するため、平成6年10月に福島・宮城両県の阿武隈川沿川29自治体（合併で現在22自治体）により設立されました。

主な事業は、・阿武隈川サミットの開催（沿川自治体長の討議。14回開催）／河川クリーンアップ／リバーズスクール／源流探検／カヌー駅伝／フォトコンテスト／講演会／交流会 など。製作物として、CD「あぶくま川の詩」などがあります。

功績内容

- ・サミット開催による流域の自治体の首長（22自治体）の施策共有や連携した活動により、治水、河川環境整備、水質改善、クリーンアップなど環境保全や啓発活動に大きな成果を上げています。
- ・地域の文化や教育について、交流を図るなど多様な取組を行い、水資源の保全に貢献しています。



※平成25年度開催
の最優秀賞作品→